

# 母性看護学臨地実習

必修 開講年次：3年次後期 科目区分：実習 単位：2単位 講義時間：90時間

■**科目のねらい**：母性看護の対象特性を理解し、看護に必要な基本的知識・技術・態度を養う。

■**到達目標**：①妊娠・分娩・産褥期にある母子（含、胎児および家族）の特性が理解できる。

- ②看護過程が理解できる。
- ③安全と人権に配慮した看護が実践できる。
- ④医療従事者に必要な連携・協働が実践・考察できる。
- ⑤母子および家族の看護を通し、生命の誕生について考察できる。
- ⑥看護学生としての自覚を持って学修を進めることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎山本 真由美・渡邊 由加利・石引 かずみ・大友 舞・宮崎 みち子

■**授業計画・内容**：

- 1) 実習施設：市立札幌病院・天使病院・JCHO北海道病院  
札幌医科大学附属病院・札幌徳洲会病院
- 2) 実習期間：平成29年11月20日～平成29年12月15日  
平成30年1月22日～平成30年2月2日  
この期間に上記いずれかの施設にて、2週間の実習を行う。
- 3) 実習内容：オリエンテーション、外来実習、病棟実習、NICU実習、カンファレンス、実習報告会  
詳細は、別途配布する「母性看護学臨地実習要項」を参照のこと。

■**教科書**：なし

■**参考文献**：有森直子編：「母性看護学I 概論」，（医歯薬出版，2016）

- 有森直子編：「母性看護学II 周産期各論」，（医歯薬出版，2015）
- 森恵美他：「系統看護学講座専門分野II 母性看護学概論 母性看護学〔1〕」，（医学書院，2012）
- 森恵美他：「系統看護学講座専門分野II 母性看護学各論 母性看護学〔2〕」，（医学書院，2016）
- 平澤美恵子他：「写真でわかる母性看護技術」，（インターメディカ，2008）
- 太田操編：「ウエルネス看護診断にもとづく看護過程（第2版）」，（医歯薬出版，2009）
- 大平光子他編：「母性看護学II：マタニティサイクル」，（南江堂，2012）
- 佐瀬正勝他編：「ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図（第3版）」，（医学書院，2016）
- 西村正子他：「ウエルネス看護診断による母性症状分類看護過程と援助技術」，（日総研出版，2007）
- 吉沢豊与子他：「マタニティアセスメントガイド」（真興交易株式会社，2007）
- 荒木勤：「改訂第22版 最新産科学 正常編」，（文光堂，2008）
- 荒木勤：「改訂第22版 最新産科学 異常編」，（文光堂，2012）

■**成績評価基準と方法**：

- ・実習内容および実習記録による総合評価。
- ・単位修得には総合評価60点以上が必要となる。なお、出席時間が授業時間の2/3に満たない場合、成績評価の対象とはならない。

評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④	⑤	⑥		
実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎	実習内容、実習態度、実習記録を基に評価する	100%
出席						◎	2/3以上の出席 欠席した場合は、減点とする	

◎：より重視する ○：重視する

■**関連科目**：人間発達援助論 母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護技術論 小児看護援助論 小児看護技術論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：本科目は、学内での学修を統合する重要な位置づけです。実習では周産期に焦点を当てて学修します。実習前に既習の知識・技術を十分復習し、準備を整えて臨んでください。また、実習時期は冬季のため、体調管理に十分留意してください。